

# 2019年3月期

## (第17期)

# 第2四半期決算説明会

2019年11月7日

株式会社ジーダット

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2019年3月期 通期予想

**売上高 前年同期比：6.0%増**

**営業利益**

**前年同期比：33.6%減**

**経常利益**

**前年同期比：23.4%減**

**四半期純利益**

**前年同期比：39.6%減**

**人件費, 外注費, 建物関係費の増加で固定費が膨らむ**

**代理販売品の売上伸長等により利益率が低下**

**海外市場向け売上は復調傾向に**

# 上半期実績

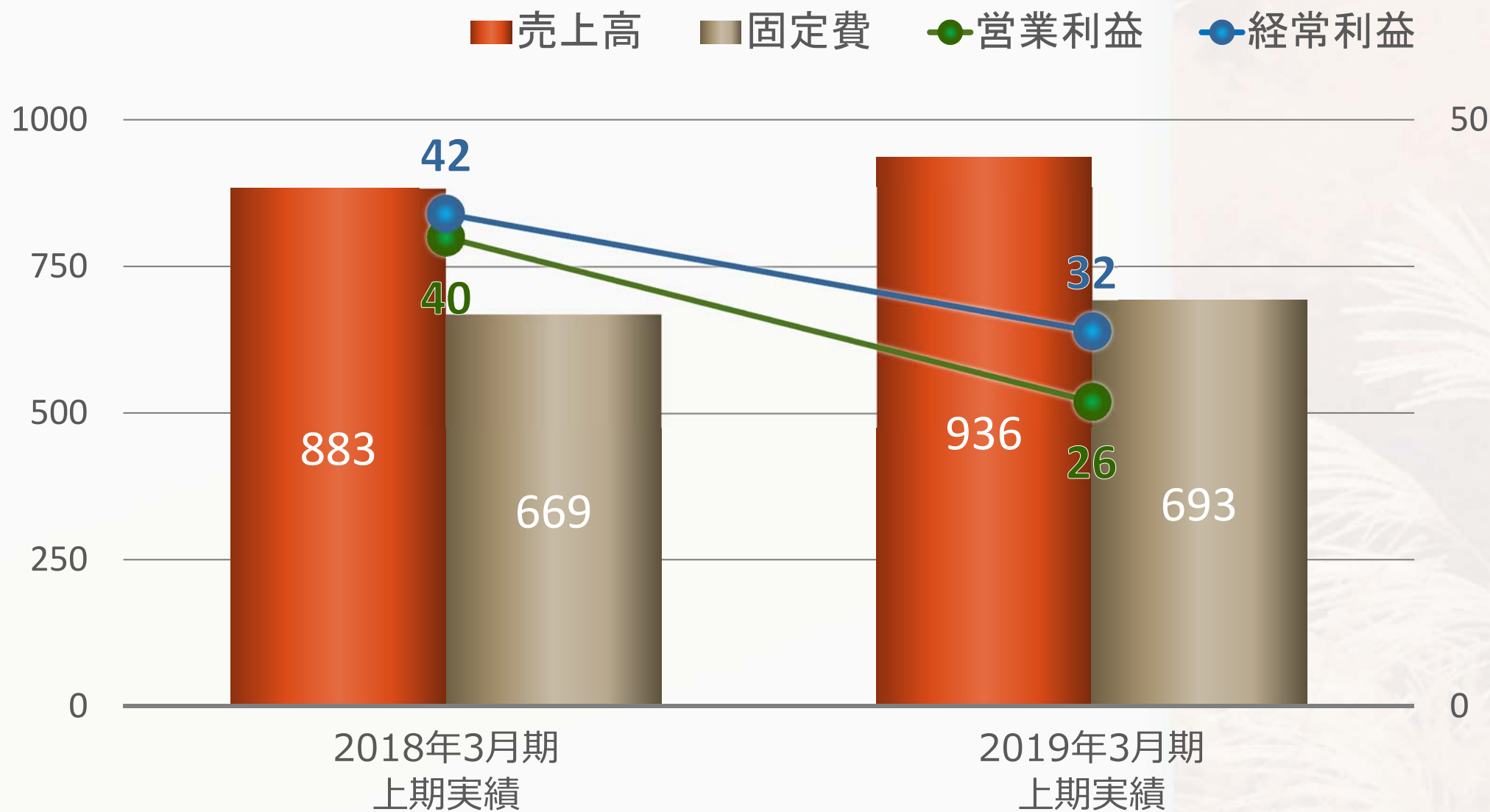
－ 前年同期比・計画比 －

(単位：百万円)	2018年3月期 上半期実績	2019年3月期上半期			
		当初計画	実績	前年 同期比	計画比
売上高	883	1,018	936	+6.0%	△8.1%
売上総利益 (率)	539 (61.1%)	616 (60.5%)	552 (59.0%)	+2.3%	△10.4%
販売費及び 一般管理費	499	562	525	+5.2%	△6.7%
営業利益	40	53	26	△33.6%	△50.0%
経常利益	42	53	32	△23.4%	△38.9%
四半期純利益	33	36	20	△39.6%	△44.6%

# 上半期売上高・利益

－ 前年同期比 －

(単位：百万円)



# 貸借対照表

－ 前期末比 －

(単位：百万円)	2018年 3月末	2018年 9月末	差異		2018年 3月末	2018年 9月末	差異
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>I 流動資産</b>	<b>2,982</b>	<b>3,135</b>	153	<b>I 流動負債</b>	<b>422</b>	<b>577</b>	154
1 現金及び預金	2,347	2,671	323	1 買掛金	34	48	13
2 受取手形及び売掛金	268	252	▲ 16	2 未払法人税等	24	16	▲ 7
3 電子記録債権	107	119	11	3 賞与引当金	91	84	▲ 7
4 有価証券	200	－	▲ 200	4 前受金	183	341	158
5 仕掛品	3	6	3	5 その他	87	85	▲ 2
6 原材料	1	1	▲ 0	<b>II 固定負債</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	－
7 その他	53	85	31	資産除去債務	3	3	－
				<b>負債合計</b>	<b>426</b>	<b>580</b>	154
<b>II 固定資産</b>	<b>198</b>	<b>185</b>	▲ 13	<b>(純資産の部)</b>			
1 有形固定資産	44	40	▲ 4	<b>I 株主資本</b>	<b>2,753</b>	<b>2,739</b>	▲ 13
2 無形固定資産	11	9	▲ 2	1 資本金	760	760	0
3 投資その他の資産	142	135	▲ 6	2 資本剰余金	890	891	0
(1)投資有価証券	40	43	2	3 利益剰余金	1,135	1,117	▲ 18
(2)繰延税金資産	42	37	▲ 4	4 自己株式	▲ 32	▲ 28	4
(3)その他	59	55	▲ 4	<b>II 新株予約権</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	▲ 0
				<b>純資産合計</b>	<b>2,754</b>	<b>2,739</b>	▲ 14
<b>資産合計</b>	<b>3,180</b>	<b>3,320</b>	140	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,180</b>	<b>3,320</b>	140

償還



# キャッシュフロー計算書

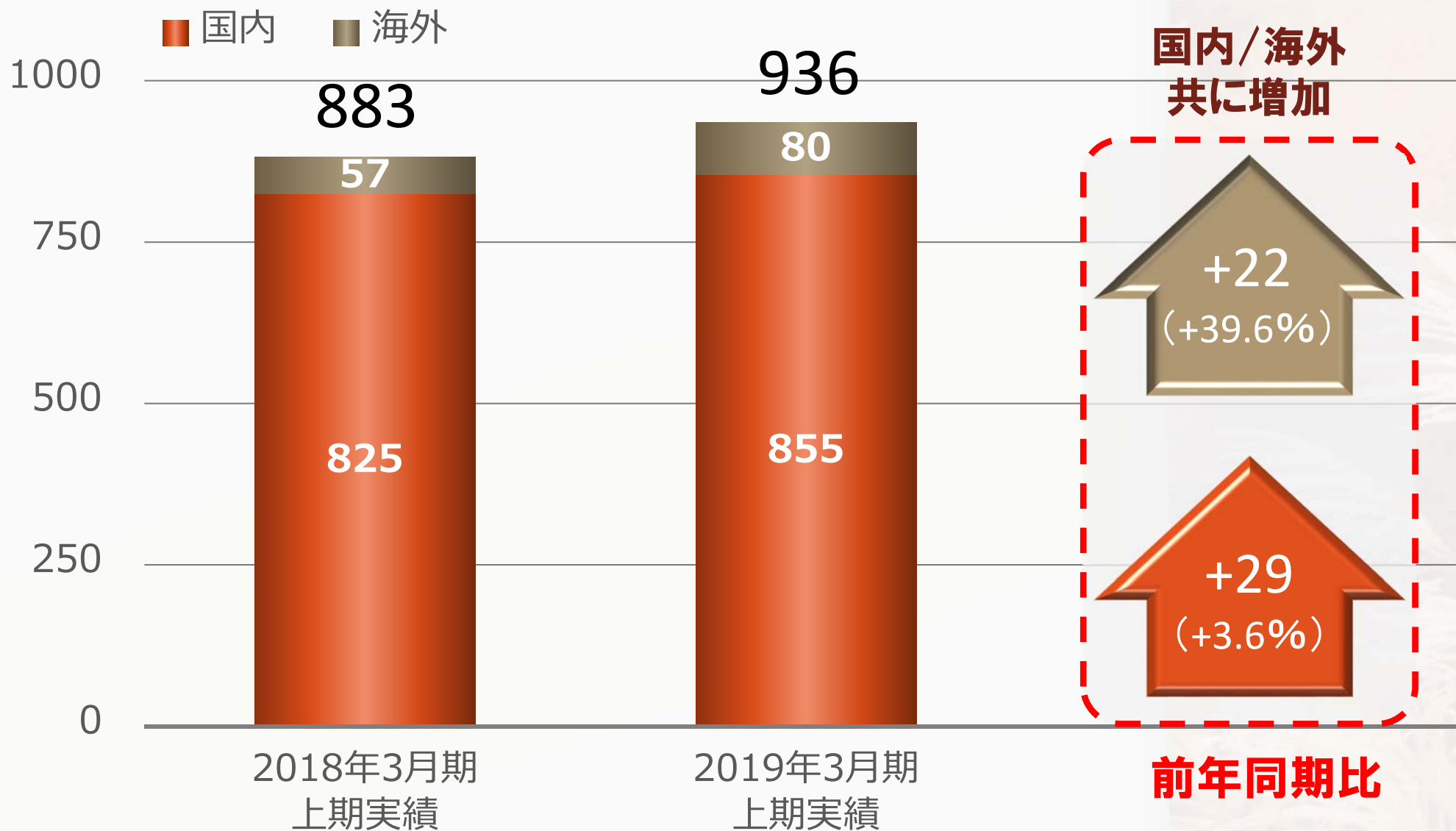
－前年同期比－

(単位：百万円)	2017年4月1日 ～ 2017年9月30日	2018年4月1日 ～ 2018年9月30日	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	127	164	37
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△70	167	238
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△28	△38	△9
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	27	294	267
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,537	1,447	△90
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,565	1,742	177

# 地域別売上高（国内/海外）

—前年同期比—

(単位：百万円)

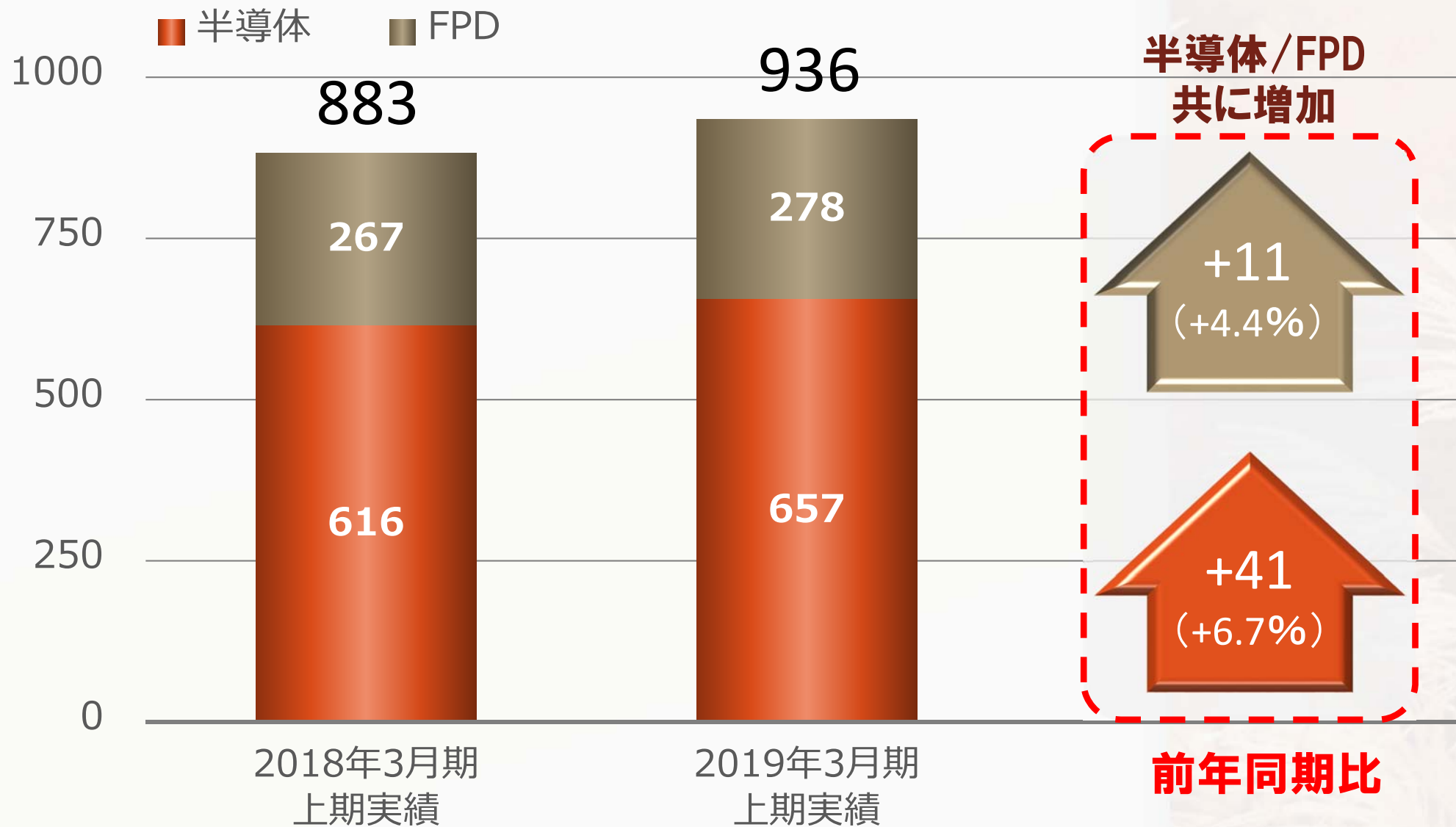




# 市場別売上高 (半導体/FPD) -前年同期比-

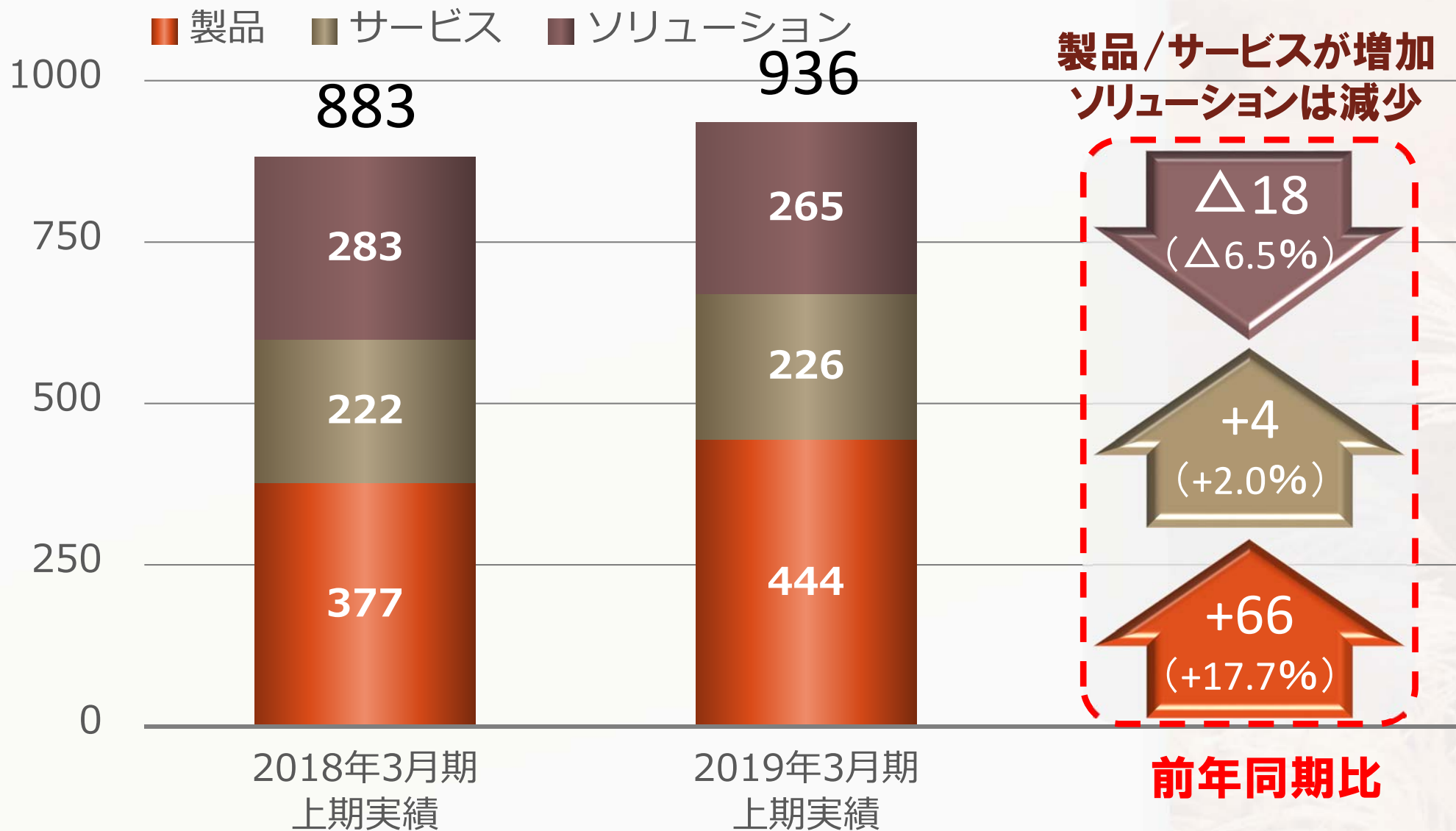
(単位：百万円)

※FPD: Flat Panel Display



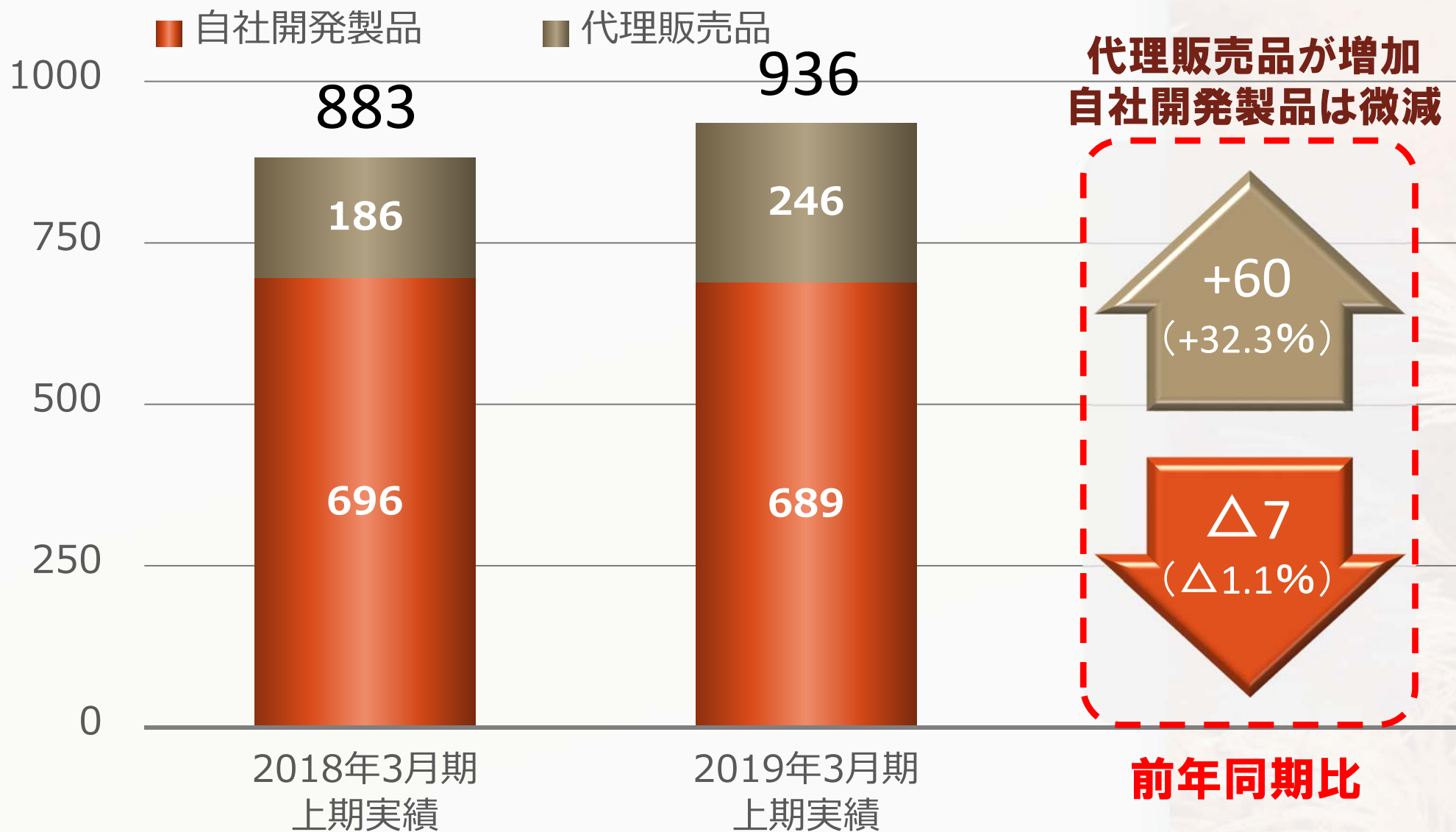
# 事業別売上高 (製品/サービス/ソリューション) -前年同期比-

(単位：百万円)



# 製品区分別売上高 (自社開発/代理販売) -前年同期比-

(単位：百万円)



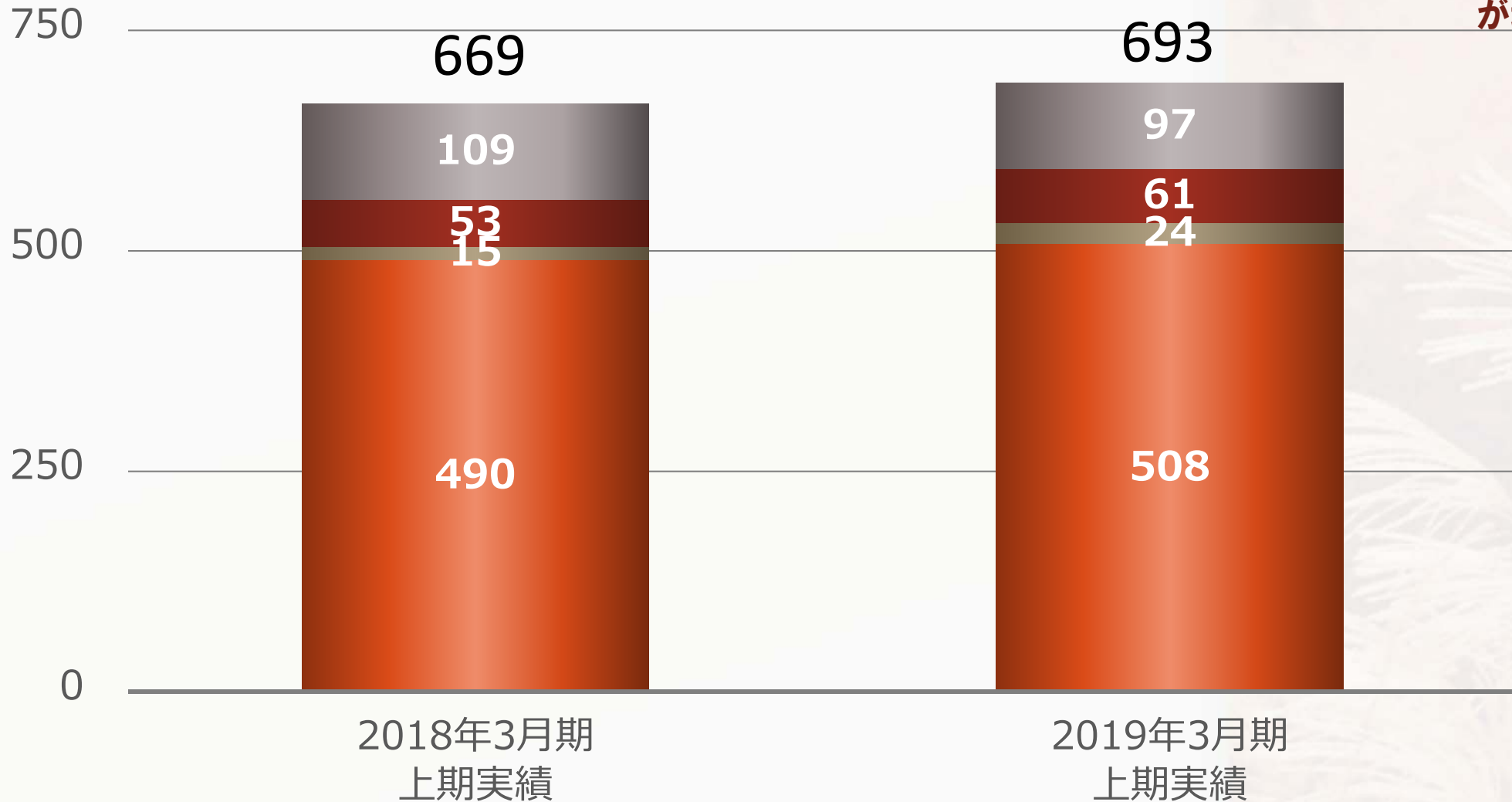
# 固定費内訳

－前年同期比－

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 外注費 ■ 建物関係/減価償却費 ■ その他経費

人件費、外注費、  
建物関係/減価償却費  
が増加



## 半導体

- ◆業界全体としては概ね堅調に推移
  - ◆スマホ需要停滞により同分野向けの業績は頭打ち
  - ◆自動車・データセンター分野向けの業績が下支え
  - ◆貿易戦争の懸念から先行き不透明感
- ◆国内における設計委託の需要は引き続き旺盛

## FPD

- ◆スマホ需要停滞の影響で中小型パネルも需要低迷
- ◆異形パネル開発へのシフトが顕著
- ◆国内における設計委託の需要は引き続き旺盛

- ◆ 新アナログ設計手法(AnaCell) 発表 (プレスリリース)
- ◆ 「SX-Meister」 V5.0リリース (AnaCell、匠DBサポート)
- ◆ 各種展示会に出展
  - ◆ MEMS Engineer Forum 2018 (東京)
  - ◆ ISPSD 2018 (シカゴ)
  - ◆ Display Week 2018 (ロスアンゼルス)
  - ◆ 応用物理学会 先進パワー半導体分科会 (大阪)
  - ◆ Design Automation Conference(DAC) (サンフランシスコ)
- ◆ 自社セミナーを開催
  - ◆ SX-Meister Technology Seminar (東京)
  - ◆ JEDAT Solution Seminar 2018 (東京/京都)
- ◆ Designer Track Best Presentation 受賞 (DAC)



1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2019年3月期 通期予想

# 下期拡販戦略と今後の取り組み (1)

## ◆ EDA開発事業

### ◆ 「SX-Meister」の更なる機能強化

- ◆ アナログLSI設計：AnaCellの拡充、設計自動化
- ◆ パワーデバイス設計：大規模解析、熱解析
- ◆ 異形パネル設計：設計効率化、設計自動化

### ◆ 「SX-Meister」の拡販活動

- ◆ アナログLSI設計：AnaCell適用・設計自動化の提案
- ◆ パワーデバイス設計：新適用分野の開拓
- ◆ 異形パネル設計：中国・台湾・韓国に重点販売

## ◆ 代理販売事業

### ◆ 競争力がある製品の拡販活動

- ◆ 自社セミナー「Partner Seminar」を開催し新規顧客を開拓



## 下期拡販戦略と今後の取り組み (2)

### ◆ ソリューション事業

#### ◆ 設計受託サービスの拡張

- ◆ 設計体制を再編・効率化し新たな顧客を開拓
- ◆ 「ターン・キー」ビジネスの提案活動を継続

#### ◆ EDAソフト受託サービスの拡張

- ◆ 製造装置との連携環境を構築
- ◆ 設計自動化環境の促進

### ◆ 海外市場向け

- ◆ 特定国・特定分野に絞り込んだ販売体制を新たに構築

### ◆ 新規ビジネス

- ◆ 工場監視システムの提案活動
- ◆ クリーンエネルギーの検査・遠隔監視システムの提案活動

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2019年3月期 通期予想

**「SX-Meister」の機能強化・拡販に注力**

**ソリューション事業を更に拡大**

**海外市場向け販売体制を増強**

# 通期予想 — 前年同期比 —

(単位:百万円)	2018年3月期 実績	2019年3月期予想	
		期初計画	前年同期比
売上高	1,864	2,100	+12.6%
営業利益	118	170	+43.2%
経常利益	127	170	+33.0%
当期純利益	92	113	+21.9%

ご清聴ありがとうございました